

地域コミュニティで保全活動を後押し

平地農業地域

13.城所の環境向上協力隊（神奈川県平塚市） きどころ

- 本地区は、平塚市北部に位置する水田地帯で多くの農道、水路が存在する。
- 現在は、地域の土木組合や農業者を中心にこれらの維持保全が行われているが、後継者の問題から、今後の維持管理が問題となっている。
- このような状況の中で、本活動組織が中心となって、農道や水路の維持管理を行うとともに、地域住民や子供たちとの交流活動を行い、広く地域の共同活動に発展させる。

【地区概要】平成24年度開始

- ・取組面積 21.38ha
(田 15.68ha、畑 5.7ha)
- ・資源量 水路 3.7km、農道 1.4km

- ・主な構成員
農業者、非農業者(自治会等)

農地維持支払
資源向上支払(共同)

地域の現状



農家による理解促進(田んぼの生き物調査)

- 活動開始前から土木組合が水門や用排水路の掃除、点検補修等を行っていた。
- 維持管理費用は、市の補助があったものの、農業者の持ち出しも多々あり、厳しいこともあった。
- 地域の様々な団体による地域の環境保全活動があった。

取組内容



地域の点検活動

生態系の保全
(生き物調査、
学校と連携)



- 農地や用排水路の点検を基に、維持管理を実施。
- 異常豪雨後の見回りによる応急措置も実施。
- 自治会、地域の中学校と連携した継続的な生き物調査を実施。

効果、課題、今後の展開

- 自治会、子供たちと連携した継続的な生き物調査を行うことにより、米作が盛んな地区内の農業や豊かな生態系に興味・関心を持つようになり、農業理解の促進が図られている。
- 景観作物の播種や収穫など、多岐にわたって交流を図り、さらなる農業理解に努める。
- 農業者以外の参加体制が整ってから事業を導入していったため、地域住民の農地維持活動や資源向上活動への理解が早く、農業用施設を維持する担い手になっている。



景観形成活動
(綿の栽培、参加72名)

景観形成活動
(そばの栽培、
小学校との連携)

